



I.Terashima

THE MUSASHINO STAKES

第30回 武蔵野ステークス (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 40,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,000,000円 4,000,000円
付加賞 588,000円 168,000円 84,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳56^{kg}、4歳以上57^{kg}、牝馬2^{kg}減、2024.11.9以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、
牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増、2024.11.8以前のGⅠ競走(牝馬限定
競走を除く)1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

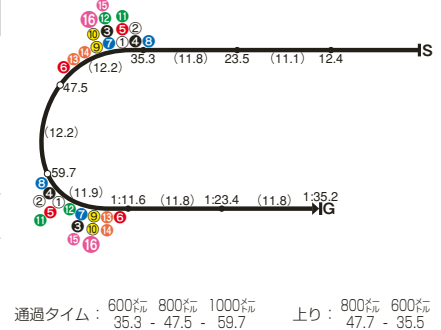
2025.11.15 東京 晴・良 ダ1600^m 国産 (指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り タイム (600 ^m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑫	ルクソールカフェ	牡	3	56	D.レーン	1:35.2	4-4	34.9	544(-2)	4.5③	堀 宣行(美浦)	114
2	④	コスタノヴァ	牡	5	59	C.ルメール	3/4	14-14	34.8	492(±0)	2.8①	木村哲也(美浦)	112
3	①	ビダーヤ	牡	4	57	川田将雅	ハナ	11-11	35.0	492(-4)	11.3④	矢作芳人(栗東)	108
4	⑮	サンライズフレ임	牡	5	57	菱田裕二	アタマ	7-7	35.3	520(+4)	22.4⑦	石坂公一(栗東)	108
5	③	ロードフォンス	牡	5	57	横山和生	クビ	7-7	35.3	496(-6)	23.3⑧	安田翔伍(栗東)	
6	②	ヴァルツァーシャル	牡	6	57	菅原明良	1/4	14-14	34.9	506(+6)	298.8⑩	高木 登(美浦)	
7	⑪	オメガギネス	牡	5	57	岩田康誠	クビ	11-11	35.3	494(-2)	3.8②	安田翔伍(栗東)	
8	⑥	ラタフォレスト	牡	4	57	T.マーカド	クビ	7-10	35.5	508(-4)	61.9⑪	加藤征弘(美浦)	
9	⑨	ベプチドナイル	牡	7	58	藤岡佑介	クビ	3-2	36.2	530(-2)	11.8⑤	武 英智(栗東)	
10	⑩	マテンロウコマンド	牡	3	57	松山弘平	3/4	4-4	36.0	520(±0)	28.5⑨	長谷川浩大(栗東)	
11	⑩	ダノンスコーピオン	牡	6	58	小崎綾也	クビ	4-4	36.1	458(-14)	139.8⑫	福永祐一(栗東)	
12	⑮	ウェットシーズン	騾	4	57	三浦皇成	クビ	2-2	36.5	518(-4)	18.6⑥	田中博康(美浦)	
13	⑥	アサカラキング	牡	5	57	津村明秀	3/4	1-1	36.8	530(+4)	74.7⑫	斎藤 誠(美浦)	
14	⑦	アドマイヤデイトナ	牡	3	57	横山武史	1/2	7-7	36.1	514(-1)	104.7⑬	加藤征弘(美浦)	
15	⑤	バトルクライ	牡	6	57	戸崎圭太	2 1/2	11-11	36.2	504(-2)	58.5⑩	高木 登(美浦)	
16	⑧	サンライズホーク	騾	6	57	佐々木大輔	1	16-16	36.0	514(+6)	227.5⑬	牧浦充徳(栗東)	

単勝④450円(3^{kg}) 複勝⑩160円(3^{kg}) ④140円(1^{kg}) ⑩290円(5^{kg}) 枠連②-⑥640円(1^{kg})

馬連④-⑩830円(2^{kg}) ワイド④-⑩370円(2^{kg}) ①-⑩1,180円(16^{kg}) ①-④700円(6^{kg})

馬単④-④1,620円(5^{kg}) 3連複①-④-⑩3,290円(7^{kg}) 3連単④-④-①13,220円(23^{kg})



アメリカ Opendale/Chelston/Wynatt & Westerberg Ireland ULC生産
馬主・西川光一氏 美浦・堀宣行厩舎
馬名意味・エジプトの都市＋冠名

5代までのインブリード：Mr.Prospector M4×M5

畠山慶和厩舎長(チャンピオンヒルズ・育成)

1歳時の着地検査後から担当させていただきました。雄大な馬体で重戦車のように思われますが、フットワークはとてもしなやかな馬です。性格は非常に繊細で我の強い面もありますが、一段一段成長してきました。今回の勝利は、簡単ではない本馬の心と体のバランスを、堀調教師の知識や経験則によって戦略的に成長へ繋げられた結果だと思います。



飛び込んだ。

フェブリーSを連覇したカフエフ

アルカディアカフェUSA(23 牝父Into Mischief)中央2戦1勝⑨

フェブラリースと同じ舞台で争われる武蔵野Sには3頭のGIウイナーをはじめ、例年以上に多彩な強豪たちが集結。なかでも上平期のダートマイル王コスタノヴァが1番人気の支持を集めたものの、課題のスタートを決められなかった同馬は2着に敗れる。これを尻目に堂々の完勝劇を演じたのは重賞未勝利の3歳馬。中心勢力の1頭と目されていたルクソールカフェが、東

はダート初参戦のアサカラキング。大外枠を引いたルクソールカフェのD・レーン騎手は、前年のフェブラリースの覇者ベブチドナイルを前に見る形で4番手の外に腰を落ち着ける。同舞台のグリーンチャンネルCを完勝し、2番人気に支持されたオメガギネスは後方4番手の外を追走。その直後に巻き返したコスタノヴァは馬群のインでじつくりと脚を溜めた。

京・ダート1600席の舞台にもゆかりが深い良血を開花させ、初の勲章を手中に収めた。

快調に飛ばしたアサカラキングに好位勢が襲い掛かった直線の坂の上り。1頭だけ、楽な手心え、で前に並びか

前走のさきたま杯(1着)に続き、スタートで大きく立ち遅れてしまったコスタノヴァをよそに、先手を奪ったの
手心え通りの末脚を繰り出し、見る見る